



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 日本ギア工業株式会社
コード番号 6356 URL http://www.nippon-gear.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝村 哲
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小倉 達朗 TEL 0466-45-2100
四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	6,383	14.3	380	3.1	405	15.0	253	18.8
25年3月期第3四半期	7,447	10.4	369	66.5	352	67.1	213	36.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	17.84	-
25年3月期第3四半期	15.01	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	10,181	6,032	59.3	424.88
25年3月期	9,935	5,798	58.4	408.37

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 6,032百万円 25年3月期 5,798百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	2.00	-	3.00	5.00
26年3月期	-	2.00	-		
26年3月期(予想)				3.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	13.4	360	13.6	380	5.6	230	5.0	16.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	14,280,000株	25年3月期	14,280,000株
期末自己株式数	26年3月期3Q	81,598株	25年3月期	79,647株
期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	14,199,467株	25年3月期3Q	14,201,374株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3 . 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3 四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融緩和政策により円安、株高が進み、大企業を中心に企業収益の回復を受けて設備投資も増加傾向にあり、また個人消費も改善しつつ全体として景気は緩やかな回復基調が続いております。

当社のセグメント別受注概況は、歯車及び歯車装置事業ではジャッキは底堅く推移いたしましたが、パルプ・コントロール、その他の増減速機は需要が落ち込み、受注は減少いたしました。また、歯車につきましても自動車用の需要が落ち込み受注は減少いたしました。その結果、歯車及び歯車装置事業では受注は減少いたしました。工事業業につきましては、原子力発電所向けの落ち込みが大きく受注は減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の受注高は70億38百万円（前年同期比2.9%減）、売上高は63億83百万円（前年同期比14.3%減）となりました。また、当第3四半期会計期間末の受注残高は37億12百万円（前事業年度末比21.4%増）となりました。

損益面につきましては、営業努力及び経費削減に努めた結果、営業利益は3億80百万円（前年同期比3.1%増）、経常利益は4億5百万円（前年同期比15.0%増）、四半期純利益は2億53百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

歯車及び歯車装置事業につきましては、パルプ・コントロールの受注高は、原子力発電所、船舶、化学向けが増加したものの、火力発電所、輸出、上下水道、石油向けが減少したことにより、前年同期比1.1%減少いたしました。売上高は、原子力発電所、輸出、船舶向けが増加したものの、火力発電所、上下水道、石油、鉄鋼向けが減少したため、前年同期比10.6%減少いたしました。ジャッキにつきましては、受注高は、懸命な営業活動により前年同期比5.7%増加いたしました。売上高は、産業用機械、液晶関連、電子関連向けの設備投資の落ち込みにより前年同期比3.7%減少いたしました。その他の増減速機につきましては、受注高は前年同期比10.2%減少し、売上高も25.5%と大幅に減少いたしました。歯車の受注高は、建設機械用、鉄道・船舶用、その他産業機械用は増加したものの、自動車用が大幅に減少したため、前年同期比5.0%減少いたしました。売上高は、自動車用、建設機械用が大幅に減少したうえ、鉄道・船舶用、その他産業機械用も減少したため、前年同期比17.6%減少いたしました。以上の結果、歯車及び歯車装置事業では、受注高は前年同期比2.3%減少し、売上高も前年同期比13.6%減少いたしました。

工事業業につきましては、受注高は石油、上下水道向けが増加したものの、火力発電所、原子力発電所向けの落ち込みが大きく前年同期比4.4%減少いたしました。売上高は上下水道向けが増加したものの、火力発電所、原子力発電所、石油向けの落ち込みが大きく、前年同期比15.9%減少いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における財政状態につきましては、流動資産は前事業年度末に比べ3億2百万円増加し72億4百万円となりました。これは主に売上債権が2億72百万円減少しましたが、現金及び預金が4億57百万円、たな卸資産が3億12百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ57百万円減少し29億76百万円となりました。これは主に投資その他の資産が64百万円増加しましたが、有形固定資産が1億7百万円減少したことによるものであります。

流動負債は前事業年度末に比べ51百万円増加し25億96百万円となりました。これは主に1年以内返済予定の長期借入金が36百万円、賞与引当金が1億82百万円減少しましたが、仕入債務が2億3百万円、未払法人税等が1億34百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ39百万円減少し15億52百万円となりました。これは主に長期借入金が1億93百万円増加しましたが、社債が40百万円、退職給付引当金が1億14百万円減少したことによるものであります。

純資産は前事業年度末に比べ2億33百万円増加し60億32百万円となりました。これは主に利益剰余金が1億82百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成25年10月22日に公表しました数値から変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,369,777	1,827,615
受取手形及び売掛金	3,142,310	2,869,515
商品及び製品	168,462	149,204
仕掛品	532,073	610,628
原材料及び貯蔵品	1,217,120	1,470,721
その他	472,004	276,998
流動資産合計	6,901,749	7,204,683
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,013,291	1,013,291
その他(純額)	1,183,971	1,076,830
有形固定資産合計	2,197,262	2,090,121
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	420,273	504,145
その他	287,693	268,574
貸倒引当金	5,200	5,200
投資その他の資産合計	702,767	767,520
固定資産合計	3,033,822	2,976,660
資産合計	9,935,571	10,181,343
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,441,877	1,645,720
1年内償還予定の社債	80,000	80,000
1年内返済予定の長期借入金	310,500	274,000
未払法人税等	-	134,403
賞与引当金	295,637	112,846
その他	417,025	349,628
流動負債合計	2,545,041	2,596,599
固定負債		
社債	200,000	160,000
長期借入金	215,000	408,000
退職給付引当金	643,635	529,358
役員退職慰労引当金	14,630	1,785
環境対策引当金	23,541	23,541
資産除去債務	204,150	204,260
その他	290,608	225,117
固定負債合計	1,591,565	1,552,062
負債合計	4,136,606	4,148,661

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,388,800	1,388,800
資本剰余金	848,348	848,348
利益剰余金	3,490,646	3,672,987
自己株式	25,773	26,513
株主資本合計	5,702,021	5,883,623
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	96,943	149,059
評価・換算差額等合計	96,943	149,059
純資産合計	5,798,964	6,032,682
負債純資産合計	9,935,571	10,181,343

(2) 四半期損益計算書
(第 3 四半期累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,447,465	6,383,603
売上原価	5,495,322	4,557,584
売上総利益	1,952,142	1,826,019
販売費及び一般管理費	1,582,694	1,445,246
営業利益	369,448	380,773
営業外収益		
受取利息	110	92
受取配当金	9,016	8,561
助成金収入	-	19,370
その他	5,821	16,253
営業外収益合計	14,948	44,277
営業外費用		
支払利息	25,369	19,161
その他	6,151	156
営業外費用合計	31,521	19,317
経常利益	352,875	405,733
特別損失		
固定資産売却損	1,241	-
固定資産除却損	734	-
特別損失合計	1,975	-
税引前四半期純利益	350,899	405,733
法人税等	137,728	152,393
四半期純利益	213,171	253,340

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	5,115,578	2,331,887	7,447,465
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	5,115,578	2,331,887	7,447,465
セグメント利益 又はセグメント損失()	62,618	432,066	369,448

(注)セグメント利益又はセグメント損失()の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	歯車及び歯車装置	工事	
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	4,422,097	1,961,505	6,383,603
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-
計	4,422,097	1,961,505	6,383,603
セグメント利益 又はセグメント損失()	57,604	438,377	380,773

(注)セグメント利益又はセグメント損失()の合計は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。